



外遊びが大好きな元気いっぱい24人の子どもたちです。天気の良い日には、砂遊びや色水遊び、泡遊びや遊具遊びなど、いろいろな遊びを楽しんでいます。これからも友達といっぱい遊ぼうね！

めろん組担任 濱岡 唯菜、一岡 佳乃、高木 理津子



16人の元気な子どもたち。体を動かすのが大好きで、みんなで誘い合って鬼ごっこやサッカーを楽しんでいます。

保育園の最後の一年、いろんな事にみんなでたのしくチャレンジして、心も体も大きくなつていこうね！

らいおん組担任 今井 美也子、森 真理子

愛知川幼稚園 めろんぐみ（4歳児クラス）

八木荘保育園 らいおんぐみ（5歳児クラス）



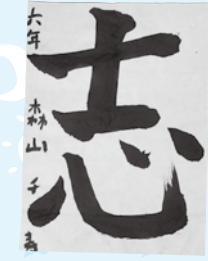
秦荘西小学校6年
吉野 采さん



この作品で気をつけたことは、筆を持つ前にどのように書くか、しっかり考えたことです。「とめ」「はね」を意識して集中して書きました。



秦荘西小学校6年
森山 千寿さん



この字を書くにあたって、上下のバランスに気をつけました。半紙いっぱい書くことで、「志」の字の持つ力強さを表現しました。



愛知川小学校2年
福原 慶大さん



色づかいをがんばりました。むらさき色が気に入っています。



愛知川小学校2年
飛戸 暁斗さん



はじめてえのぐをつかっていろいろな色を作るのをがんばりました。また、えのぐをつかうのがたのしみです。

子どもなんでも相談室

特性配慮について②

2回目の今回は、家庭や学校、職場など身近な場所で、発達特性を強く持つ人に対して配慮していただきたい基本的なポイントを紹介していきます。

ただし、発達特性を強く持つ、持たないに関わらず、子どもへの声掛けにも応用できるので、ぜひ参考にしてみてください。

■できたことをほめる / できないことを叱らない■

他の人が簡単にできることでも、うまくできないことがあります。本人ができないことや失敗したことを責めたり叱ったりすると、本人は「自分はだめだ」と落ち込んでしまったり、他の人や社会のせいにして、批判的・攻撃的・反社会的な行動傾向が強まったりしてしまいます。注意をする場合は、努力している点や、うまくいっている点をほめたうえで、できなかったところは、どのようにすればもっと良くなるかを 肯定的、具体的に伝えましょう。

■視覚的な情報を提示して説明する■

発達特性を持っている人の多くは、言葉で言われるよりも、目で見て分かる情報の方が理解しやすいと言われています。その人が理解している言葉を使い、写真や絵などを添えて説明してあげると、理解しやすくなります。

■説明や指示は短い文で、順を追って、具体的に■

発達特性を持つ人は、曖昧な表現を理解するのが苦手です。言葉で説明するときは、短い文で、一つずつ順を追って、具体的に伝えましょう。話を理解しやすくなり、見通しが持てるようになります。

■安心できる環境を整える■

人混みや大きな音、光などの刺激を苦手とする人が多くいます。そのような刺激による不快感を大きくしないように、安心できる環境をつくりましょう。

健康推進課（愛知川庁舎）
子育て世代包括支援センター
☎0749-42-7661

「妊婦とお腹の赤ちゃん・子育て応援宣言のまち」愛荘町



参考：「あしたの暮らしをわかりやすく政府広報オンライン」